

那覇市観光エリアにおける予備的調査結果

那覇市観光エリアの概要

- 本調査の対象となった事業所は4,217件である。

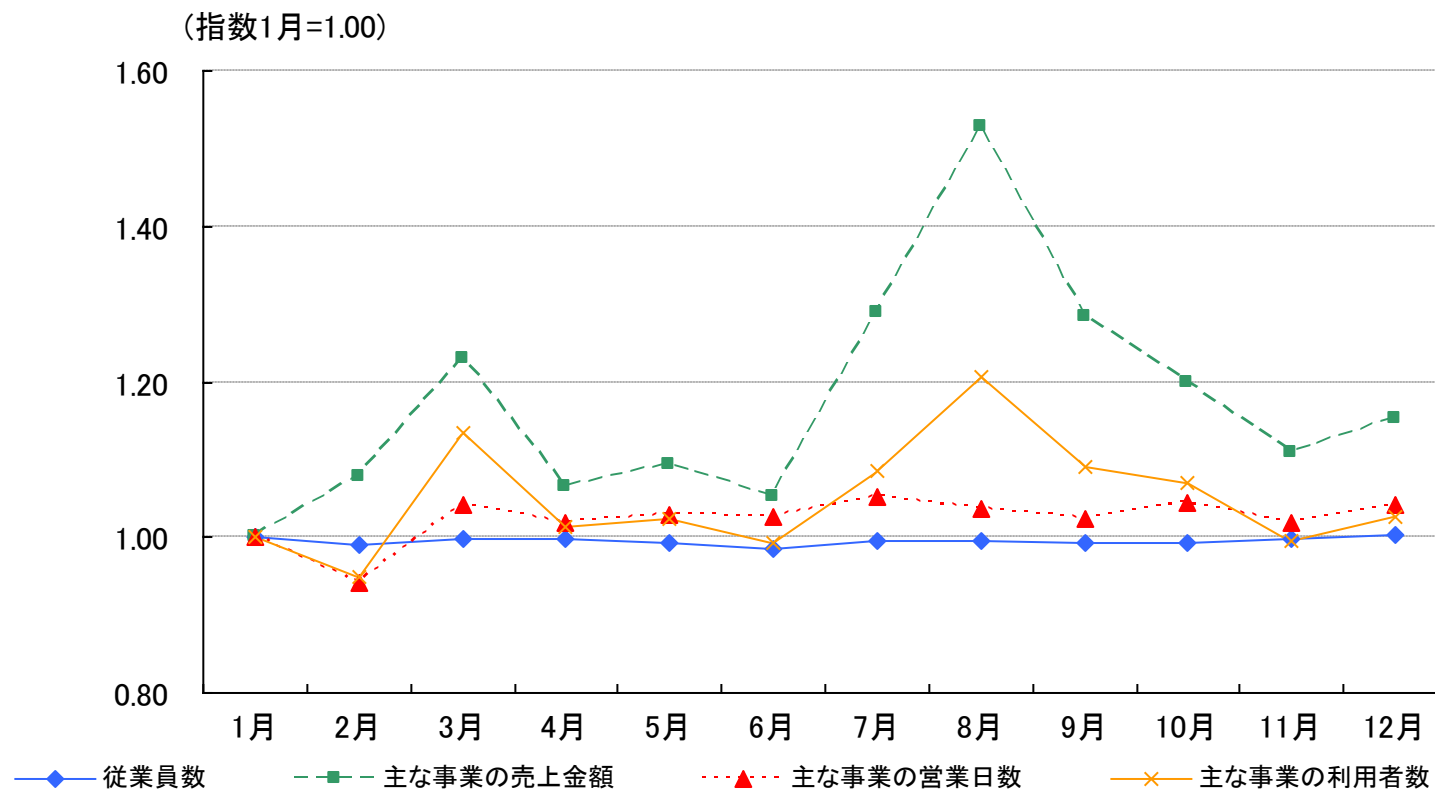
	観光産業 事業所数（件）
全国 （対象地域合計）	52,745
那覇市観光エリア	4,217

那覇市観光エリアで調査対象となった旧市区町村：
旧首里市、旧真和志市、旧那覇市（沖縄県）

代表的な観光地点：
首里城／識名園／波の上ビーチ／沖縄県立博物館・美術館

観光売上・利用者数の季節変動

- ・ 主な事業の売上の変動は3月、8月にピークがあり、特に8月のピークが大きくなっている。
- ・ 利用者数の変動は主な事業の売上に比べ緩やかであるが、主な事業の売上と同様に3月、8月がピークとなっている。
- ・ 利用者数と、主な事業の売上の変動が類似しており、年間を通じて消費額単価(円／人)が安定していると考えられる。

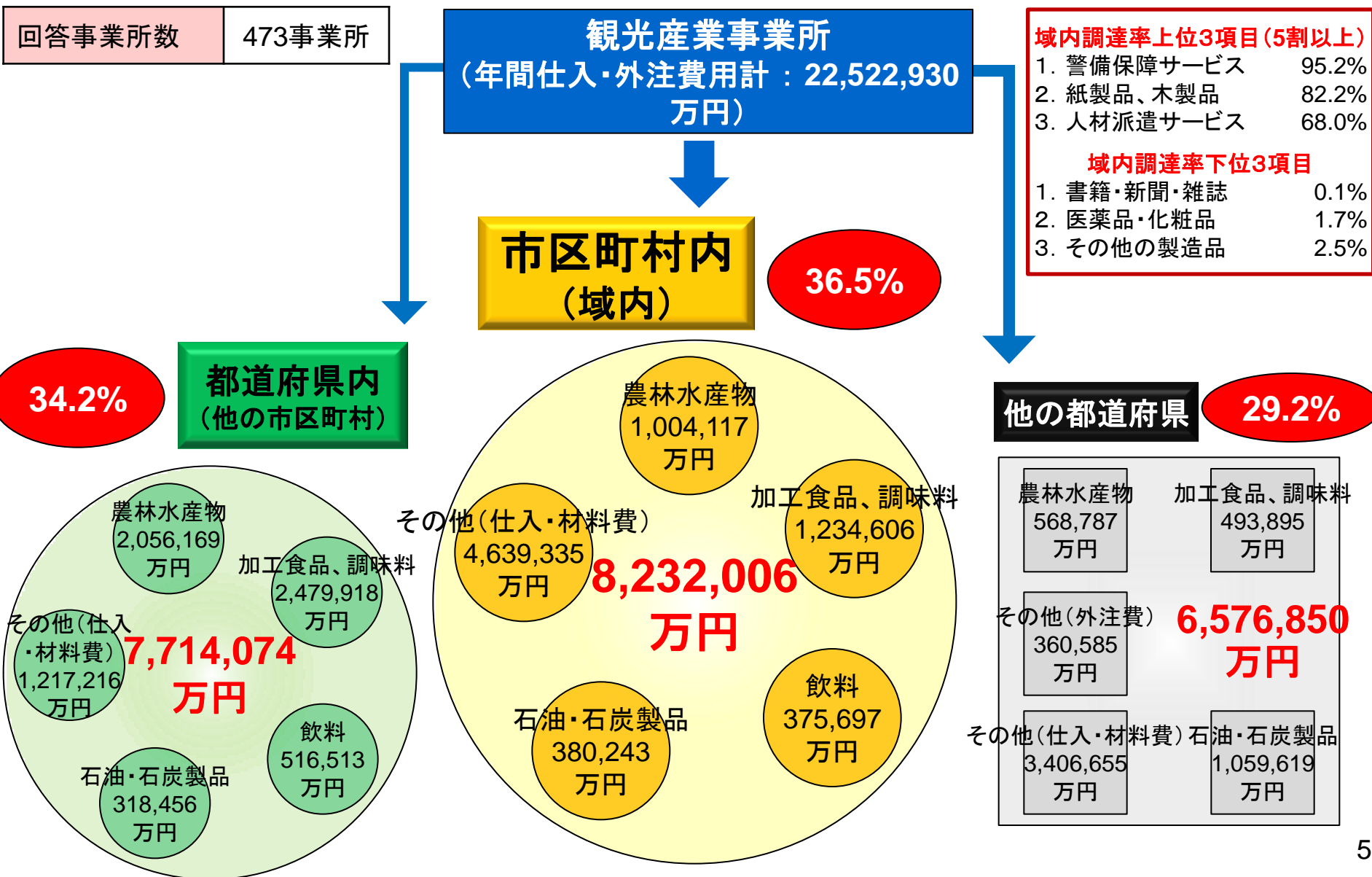


事業別観光売上割合

- ・ 主な事業に占める観光売上割合は22.4～90.0%であり、全体としては46.8%となっている。
- ・ エリア内で観光売上割合が高い事業は社会教育事業、物品賃貸事業、生活関連サービス、娯楽事業であり、そのうち社会教育事業、物品賃貸事業については全国と比べても高い割合となっている。
- ・ 小売業、飲食サービス事業についても全国と比べると高い割合となっている。

代表地域		全体	小売業	旅客運送事業	物品賃貸事業	宿泊事業	飲食サービス事業	生活関連サービス、娯楽事業	社会教育事業	不詳
全国	主な事業の売上(百万円)	5,151,082	2,861,539	423,935	100,895	417,630	778,564	462,627	74,526	31,366
	観光売上(百万円)	1,276,492	257,465	137,803	53,067	286,370	143,642	348,158	45,938	4,049
	(観光売上割合)	(24.8%)	(9.0%)	(32.5%)	(52.6%)	(68.6%)	(18.4%)	(75.3%)	(61.6%)	(12.9%)
那覇市観光エリア	主な事業の売上(百万円)	597,623	223,672	33,761	58,347	71,769	87,243	99,830	18,579	20
	観光売上(百万円)	279,640	50,045	10,202	45,605	46,444	35,714	74,896	16,730	-
	(観光売上割合)	(46.8%)	(22.4%)	(30.2%)	(78.2%)	(64.7%)	(40.9%)	(75.0%)	(90.0%)	

観光需要に基づく資金の約37%が域内に循環している



平均売上額 個人経営:約1,800万円、法人経営:約3億円

- ・ 個人経営では、売上(収入)金額の平均が費用総額を上回っている。
- ・ 法人経営の費用内訳では、仕入・材料費を除くと外注費、販売手数料が高く、従業員教育費が低くなっている。

個人経営

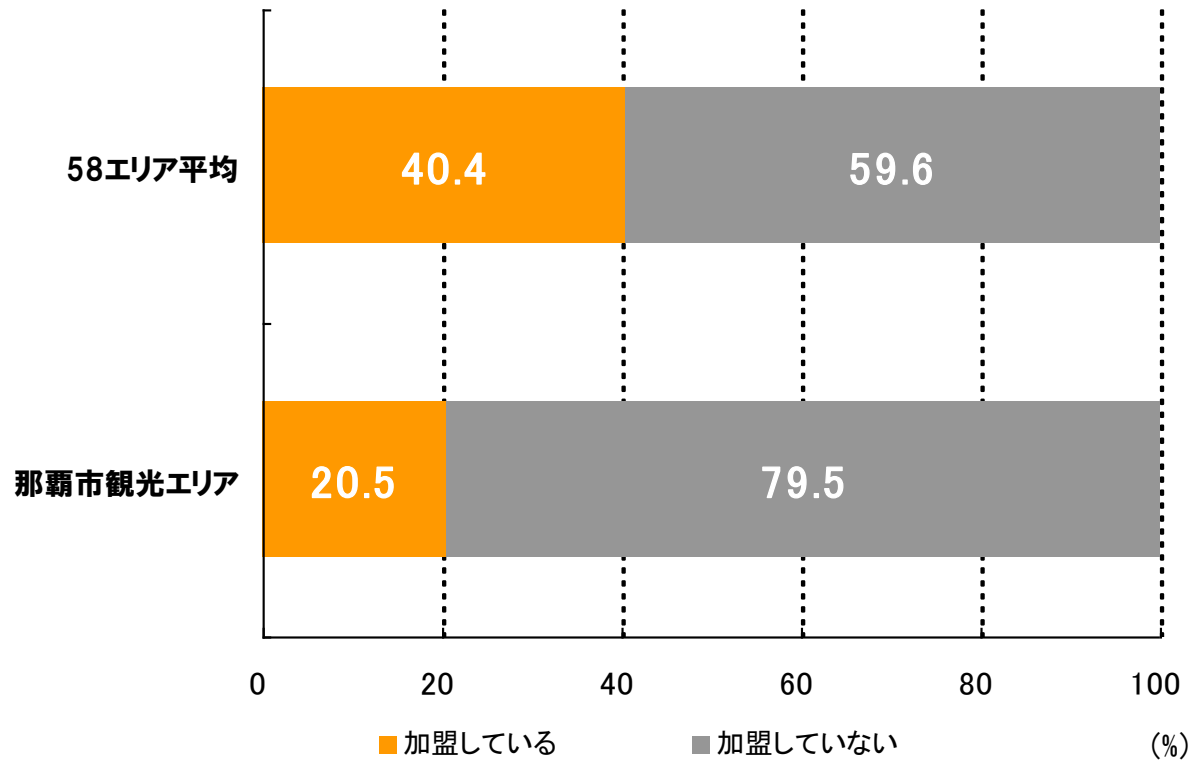
	平均
売上(収入)金額 (万円)	1,860
費用総額(売上原価+経費計) (万円)	1,702

法人

		平均
売上高 (万円)		30,618
費用	売上原価 (万円)	17,564
	販売費及び一般管理費 (万円)	12,492
費用 内訳 (特掲)	仕入・材料費 (万円)	11,881
	外注費 (万円)	2,092
	販売手数料 (万円)	2,684
	広告宣伝費 (万円)	393
	従業員教育費 (万円)	83

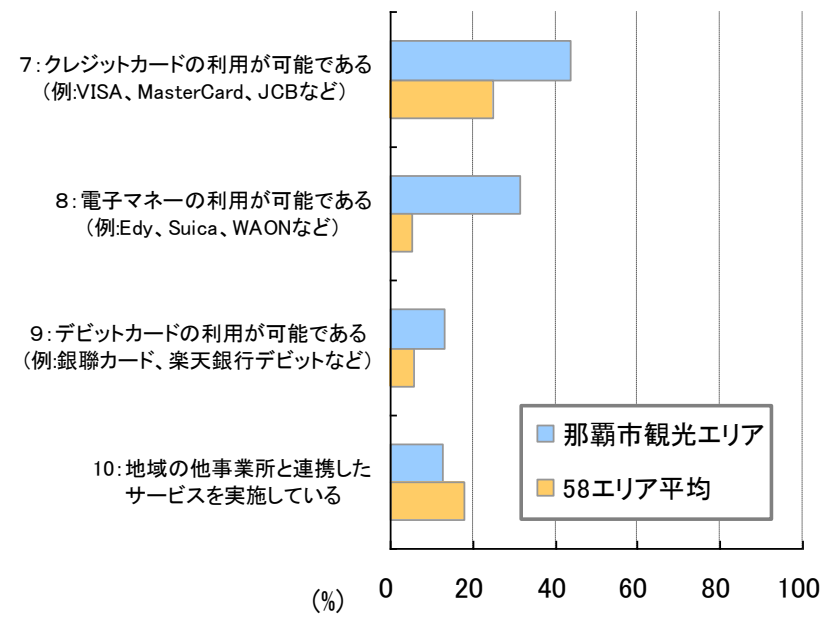
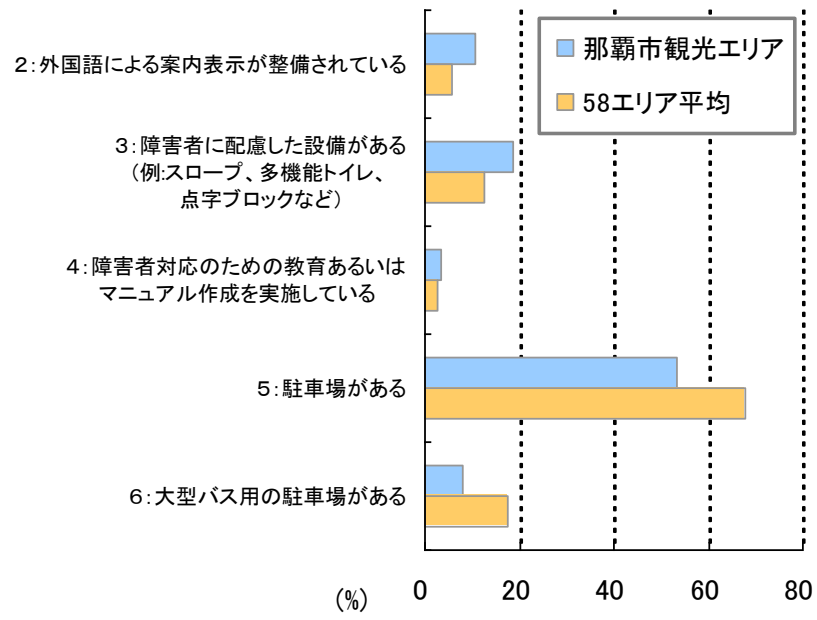
取り組みの内容[観光協会への加盟]

- 観光産業事業所の観光協会への加盟率は、那覇市観光エリアで20.5%で、58エリア平均と比較して低くなっている。



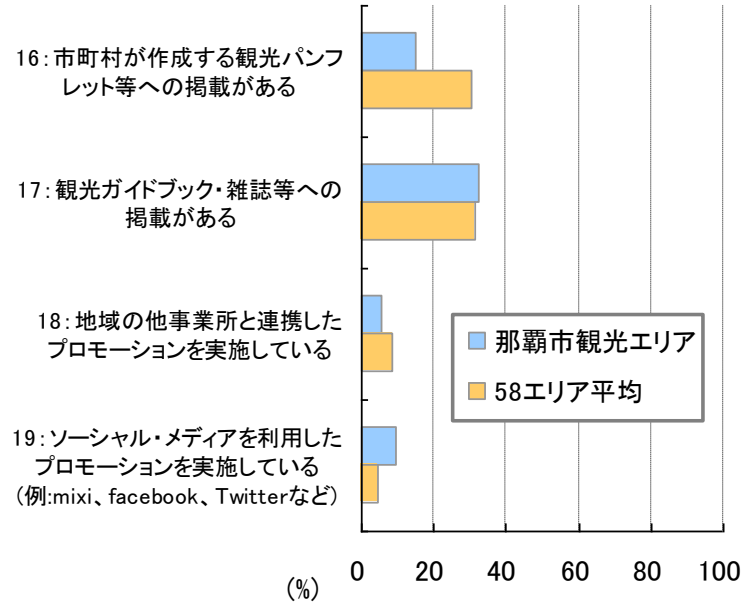
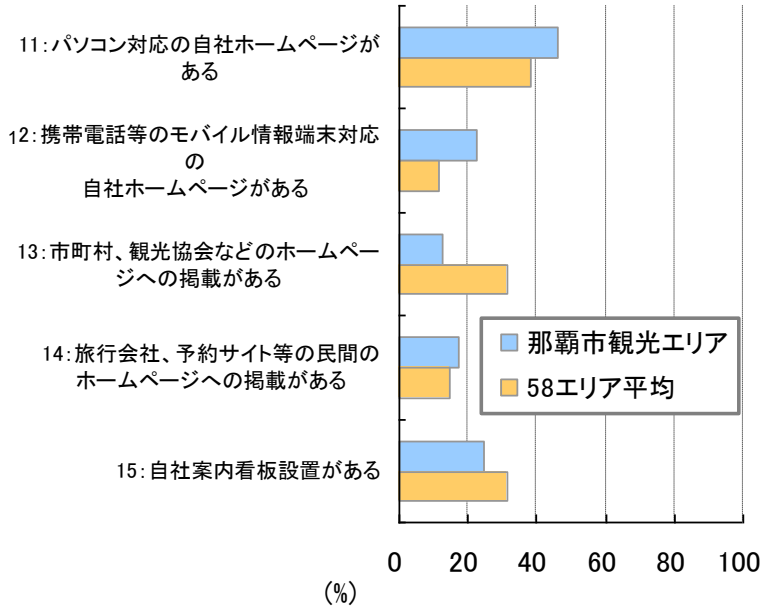
取り組みの内容[サービスの提供状況]

- 「2.外国語による案内表示」、「3.障害者に配慮した設備」、「4.障害者対応のための教育あるいはマニュアル作成」は58エリア平均より高く、外国人や障害者に配慮したサービスの整備が進められていると考えられる。
- 「5.駐車場がある」、「6. 大型バス駐車場がある」がともに58エリア平均と比べて低く、土地的な余裕が少ないとも考えられる。
- 「7.クレジットカードの利用」、「8.電子マネーの利用」、「9.デビットカードの利用」については58エリア平均に比べ非常に高くなっており、これらのサービスの導入状況は先進的であるといえる。



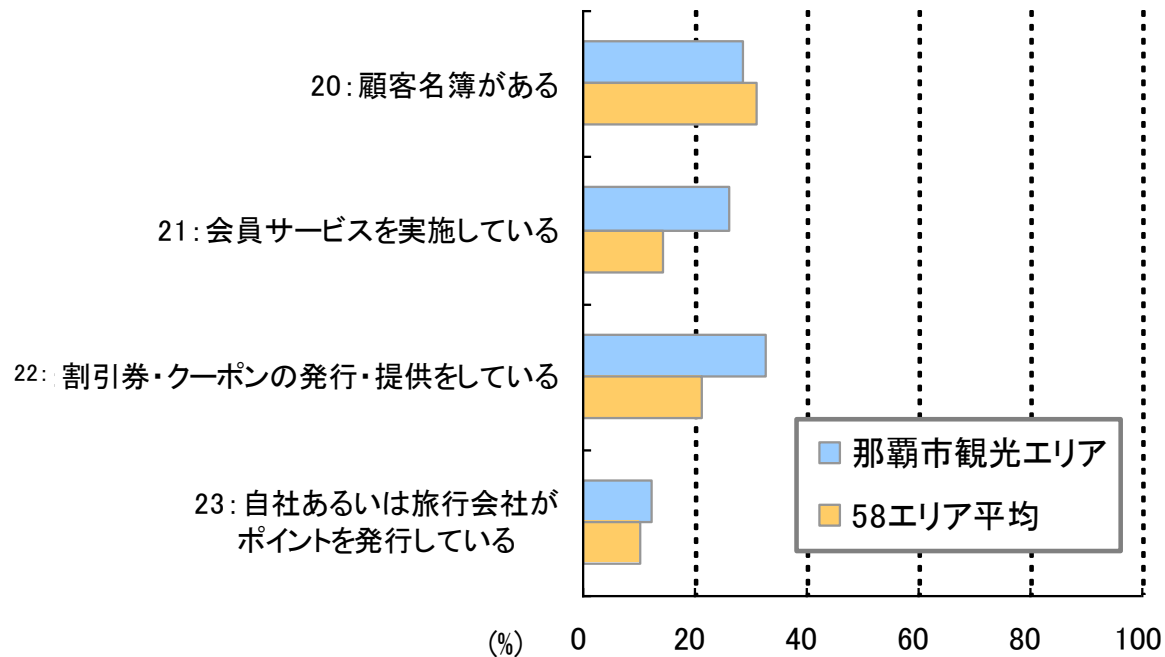
取り組みの内容[広告の実施状況]

- 「11.パソコン対応の自社ホームページ」、「12.携帯電話等のモバイル情報端末対応の自社ホームページ」は58エリア平均より高くなっており、事業所自らによる情報提供が実施されていると考えられる。
- 一方、「13.市町村、観光協会などのホームページ」、「16.市町村が作成する観光パンフレット等」は58エリア平均より低く、公的機関等の媒体への情報掲載にあまり積極的ではない傾向がある。
- 「19.ソーシャル・メディアを利用したプロモーションを実施」については58エリア平均よりも高くなっている。



取り組みの内容[マーケティング]

- マーケティングについては「20.顧客名簿がある」を除き、58エリア平均より高い割合となっている。特に、「22.割引券・クーポンの発行」は高い水準にある。



電子商取引による売上の相手・手段の構成

- 観光客個人(直接販売)への販売は約60%と概ね58エリア平均と同様であるが、観光客個人(手数料支払販売)については58エリア平均よりも低く、5%に満たない割合となっている。
- 一方、企業・団体は40%と58エリア平均に比べ非常に高い割合を占めている。

代表地域		観光客個人 [直接販売]	観光客個人 [手数料支払販売]	企業・団体
58エリア平均	構成比	59.1%	22.0%	18.9%
那覇市観光エリア	構成比	55.3%	4.7%	40.0%